

社 会

(歴史的分野)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	歴史 002-72	A B 300	令和6年
17	教育出版	教 出◆	歴史 017-72	A B 317	
46	帝国書院	帝 国◆	歴史 046-72	A B 334	
81	山川出版社	山 川◆	歴史 081-72	A B 296	
116	日本文教出版	日 文◆	歴史 116-72	A B 324	
225	自由社	自由社◆	歴史 225-72	A B 変型 312	
227	育鵬社	育鵬社◆	歴史 227-72	A B 308	
229	学び舎	学び舎	歴史 229-72	A 4 308	
236	令和書籍	令 書	歴史 236-73	A 5 520	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育鷗社	229 学び舎	236 令書	
内容	我が国の伝統と文化を扱っている箇所数	427	446	423	421	587	349	462	350	145
	地域の学習資源や大学、国際機関等、社会の学習資源を活用している箇所数	52	25	31	40	58	50	42	22	7
	世界の歴史と関わらせて我が国の歴史を取り上げている箇所数	317	268	255	319	283	347	252	246	114
	取り上げられている歴史上の人物の数	487	552	512	636	485	782	676	465	1061
	取り上げられている主な文化遺産の数	135	140	131	121	134	100	127	92	54
	世界の歴史について取り上げている箇所数	59	57	59	70	55	56	57	59	69
	身近な地域の歴史(東京に関する歴史的事象)を取り上げている箇所数	98	74	71	76	74	96	73	97	59
	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料数	3	3	1	2	2	7	4	1	10
我が国の位置と領土をめぐる問題の扱いが載っているページ数	7	9	9	8	8	6	10	4	15	
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしている。 ・各章の終結部に「ウェビング」「ステップチャート」などの思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしている。 ・「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。	・冒頭の「歴史にアプローチ」で、本編各章の学習で「見方・考え方」を働かせながら学習を深めていけるように配慮している。 ・各章の導入の場面では、生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版などの資料をわかりやすく提示し、円滑に授業に入っていくことができるように工夫している。 ・資料の読み解きのために「THINK！」などのコーナーや、1時間の学習をまとめる「確認」「表現」のコーナーを設け、生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮している。	・「タイムトラベル」、「世界とのつながりを考えよう イラスト編」では、大きなイラストを示し、重要な場面を探し出す課題を設定するなどして、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動に使えるようにしている。 ・単元を貫く「章の問い」、「節の問い」や章末の「学習を振り返ろう」等、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。	・各パート冒頭の学習課題や、最後の「ステップアップ」だけでなく、パート内の随所に豊富な多様な種類の発問を設け、主体的・対話的で深い学びができるようにしている。	・複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」を設けている。 ・話し合いなどの対話的な活動を行う箇所「学び合い」のマークを付している。	・「調べ学習のページ」を設定し、生徒の探究を促している。 ・「時代の特徴を考えるページ」において、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題を設定することで、時代比較、人物比較、意見交換会などを通じて、学んだことを自分で構造化できるようにしている。	・「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、学びのテーマ、学びの方法や手段、まとめ方などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促している。	・生徒の関心を引き出す図版や記述等の教材を用いて、生徒自ら感じる主体的な学びにつなげている。 ・章や部のまとめでは、将軍、大小の商人、百姓、アイヌなど様々な人びとへのインタビュー記事をつくる表現活動を設定するなどの活動を通して「主体的・対話的で深い学び」を図っている。	・「グループで歴史を調べよう」のページで、身近なものや興味のあるものの歴史をグループで調べる方法について紹介している。 ・小テーマ毎に最初に「課題」を設定するとともに、最後に「考えよう」の項目を設定している。 ・各章の最後には、表をまとめる作業及び自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる課題が設定されている。
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり	なし
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり
	防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし
	脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

都立小石川中等教育学校 社会(歴史的分野) 採択資料

	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育麟社	229 学び舎	236 令書	
内容	発行者の番号略称									
	地域の学習資源や大学、国際機関等、社会の学習資源を活用している箇所数	52	25	31	40	58	50	42	7	
	世界の歴史と関わらせて我が国の歴史を取り上げている箇所数	317	268	255	319	283	347	252	114	
	調べ学習の仕方を紹介しているページ数	10	22	6	15	13	13	18	9	
	取り上げられている歴史上の人物の数	487	552	512	636	485	782	676	1061	
	取り上げられている主な文化遺産の数	135	140	131	121	134	100	127	54	
	世界の歴史について取り上げている箇所数	59	57	59	70	55	56	57	69	
	身近な地域の歴史(東京に関する歴史的事象)を取り上げている箇所数	98	74	71	76	74	96	73	59	
構成上の工夫	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料数	3	3	1	2	2	7	4	10	
	我が国の位置と領土をめぐる問題の扱いが載っているページ数	7	9	9	8	8	6	10	15	
参考	「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしている。 ・各章の終結部に「ウェビング」「ステップチャート」などの思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしている。 ・「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。	・冒頭の「歴史にアプローチ」で、本編各章の学習で「見方・考え方」を働かせながら学習を深めていけるように配慮している。 ・各章の導入の場面では、生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版などの資料をわかりやすく提示し、円滑に授業に入っていくことができるように工夫している。 ・資料の読み解きのために「THINK!」などのコーナーや、1時間の学習をまとめる「確認」「表現」のコーナーを設け、生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮している。	・「タイムトラベル」,「世界とのつながりを考えよう イラスト編」では、大きなイラストを示し、重要な場面を探し出す課題を設定するなどして、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動に使えるようにしている。 ・単元を貫く「章の問い」,「節の問い」や章末の「学習を振り返ろう」等、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。	・各パート冒頭の学習課題や、最後の「ステップアップ」だけでなく、パート内の随所に豊富で多様な種類の発問を設け、主体的・対話的で深い学びができるようにしている。	・複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」を設けている。 ・話し合いなどの対話的な活動を行う箇所「学び合い」のマークを付している。	・「調べ学習のページ」を設定し、生徒の探究を促している。 ・「時代の特徴を考えるページ」において、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題を設定することで、時代比較、人物比較、意見交換会などを通じて、学んだことを自分で構造化できるようにしている。	・「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、学びのテーマ、学びの方法や手段、まとめ方などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促している。	・生徒の関心を引き出す図版や記述等の教材を用いて、生徒自ら感じる主体的な学びにつなげている。 ・章や部のまとめでは、將軍、大小の商人、百姓、アイヌなど様々な人びとへのインタビュー記事をつくる表現活動を設定するなどの活動を通して「主体的・対話的で深い学び」を図っている。	・「グループで歴史を調べよう」のページで、身近なものや興味のあるものの歴史をグループで調べる方法について紹介している。 ・小テーマ毎に最初に「課題」を設定するとともに、最後に「考えよう」の項目を設定している。 ・各章の最後には、表をまとめる作業及び自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる課題が設定されている。	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり	なし
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり
	防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし
	脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

都立両国高等学校附属中学校 社会(歴史的分野) 採択資料

	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育麟社	229 学び舎	236 令書	
内容	地域の学習資源や大学、国際機関等、社会の学習資源を活用している箇所数	52	25	31	40	58	50	42	22	7
	世界の歴史と関わらせて我が国の歴史を取り上げている箇所数	317	268	255	319	283	347	252	246	114
	調べ学習の仕方を紹介しているページ数	10	22	6	15	13	13	18	7	9
	取り上げられている歴史上の人物の数	487	552	512	636	485	782	676	465	1061
	取り上げられている主な文化遺産の数	135	140	131	121	134	100	127	92	54
	世界の歴史について取り上げている箇所数	59	57	59	70	55	56	57	59	69
	身近な地域の歴史(東京に関する歴史的事象)を取り上げている箇所数	98	74	71	76	74	96	73	97	59
	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料数	3	3	1	2	2	7	4	1	10
我が国の位置と領土をめぐる問題の扱いが載っているページ数	7	9	9	8	8	6	10	4	15	
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしている。 ・各章の終結部に「ウェビング」「ステップチャート」などの思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしている。 ・「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。	・冒頭の「歴史にアプローチ」で、本編各章の学習で「見方・考え方」を働かせながら学習を深めていけるように配慮している。 ・各章の導入の場面では、生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版などの資料をわかりやすく提示し、円滑に授業に入っていくことができるように工夫している。 ・資料の読み解きのために「THINK！」などのコーナーや、1時間の学習をまとめる「確認」「表現」のコーナーを設け、生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮している。	・「タイムトラベル」,「世界とのつながりを考えよう イラスト編」では、大きなイラストを示し、重要な場面を探し出す課題を設定するなどして、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動に使えるようにしている。 ・単元を貫く「章の問い」,「節の問い」や章末の「学習を振り返ろう」等、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。	・各パート冒頭の学習課題や、最後の「ステップアップ」だけでなく、パート内の随所に豊富で多様な種類の発問を設け、主体的・対話的で深い学びができるようにしている。	・複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」を設けている。 ・話し合いなどの対話的な活動を行う箇所「学び合い」のマークを付している。	・「調べ学習のページ」を設定し、生徒の探究を促している。 ・「時代の特徴を考えるページ」において、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題を設定することで、時代比較、人物比較、意見交換会などを通じて、学んだことを自分で構造化できるようにしている。	・「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、学びのテーマ、学びの方法や手段、まとめ方などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促している。	・生徒の関心を引き出す図版や記述等の教材を用いて、生徒自ら感じる主体的な学びにつなげている。 ・章や部のまとめでは、將軍、大小の商人、百姓、アイヌなど様々な人びとへのインタビュー記事をつくる表現活動を設定するなどの活動を通して「主体的・対話的で深い学び」を図っている。	・「グループで歴史を調べよう」のページで、身近なものや興味のあるものの歴史をグループで調べる方法について紹介している。 ・小テーマ毎に最初に「課題」を設定するとともに、最後に「考えよう」の項目を設定している。 ・各章の最後には、表をまとめる作業及び自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる課題が設定されている。
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり	なし
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり
	防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし
	脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

都立桜修館中等教育学校 社会(歴史的分野) 採択資料

	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育麟社	229 学び舎	236 令書	
内容	我が国の伝統と文化を扱っている箇所数	427	446	423	421	587	349	462	350	145
	世界の歴史と関わらせて我が国の歴史を取り上げている箇所数	317	268	255	319	283	347	252	246	114
	調べ学習の仕方を紹介しているページ数	10	22	6	15	13	13	18	7	9
	取り上げられている歴史上の人物の数	487	552	512	636	485	782	676	465	1061
	取り上げられている主な文化遺産の数	135	140	131	121	134	100	127	92	54
	世界の歴史について取り上げている箇所数	59	57	59	70	55	56	57	59	69
	身近な地域の歴史(東京に関する歴史的事象)を取り上げている箇所数	98	74	71	76	74	96	73	97	59
	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料数	3	3	1	2	2	7	4	1	10
我が国の位置と領土をめぐる問題の扱いが載っているページ数	7	9	9	8	8	6	10	4	15	
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしている。 各章の終結部に「ウェビング」「ステップチャート」などの思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしている。 「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭の「歴史にアプローチ」で、本編各章の学習で「見方・考え方」を働かせながら学習を深めていけるように配慮している。 各章の導入の場面では、生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版などの資料をわかりやすく提示し、円滑に授業に入っていくことができるように工夫している。 資料の読み解きのために「THINK!」などのコーナーや、1時間の学習をまとめる「確認」「表現」のコーナーを設け、生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「タイムトラベル」,「世界とのつながりを考えよう イラスト編」では、大きなイラストを示し、重要な場面を探し出す課題を設定するなどして、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動に使えるようにしている。 単元を貫く「章の問い」,「節の問い」や章末の「学習を振り返ろう」等、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各パート冒頭の学習課題や、最後の「ステップアップ」だけでなく、パート内の随所に豊富で多様な種類の発問を設け、主体的・対話的で深い学びができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」を設けている。 話し合いなどの対話的な活動を行う箇所「学び合い」のマークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「調べ学習のページ」を設定し、生徒の探究を促している。 「時代の特徴を考えるページ」において、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題を設定することで、時代比較、人物比較、意見交換会などを通じて、学んだことを自分で構造化できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、学びのテーマ、学びの方法や手段、まとめ方などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の関心を引き出す図版や記述等の教材を用いて、生徒自ら感じる主体的な学びにつなげている。 章や部のまとめでは、将軍、大小の商人、百姓、アイヌなど様々な人びとへのインタビュー記事をつくる表現活動を設定するなどの活動を通して「主体的・対話的で深い学び」を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「グループで歴史を調べよう」のページで、身近なものや興味のあるものの歴史をグループで調べる方法について紹介している。 小テーマ毎に最初に「課題」を設定するとともに、最後に「考えよう」の項目を設定している。 各章の最後には、表をまとめる作業及び自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる課題が設定されている。
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり	なし
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり
	防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし
	脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育麟社	229 学び舎	236 令書	
内容	我が国の伝統と文化を扱っている箇所数	427	446	423	421	587	349	462	350	145
	地域の学習資源や大学、国際機関等、社会の学習資源を活用している箇所数	52	25	31	40	58	50	42	22	7
	世界の歴史と関わらせて我が国の歴史を取り上げている箇所数	317	268	255	319	283	347	252	246	114
	取り上げられている歴史上の人物の数	487	552	512	636	485	782	676	465	1061
	取り上げられている主な文化遺産の数	135	140	131	121	134	100	127	92	54
	世界の歴史について取り上げている箇所数	59	57	59	70	55	56	57	59	69
	身近な地域の歴史(東京に関する歴史的事象)を取り上げている箇所数	98	74	71	76	74	96	73	97	59
	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料数	3	3	1	2	2	7	4	1	10
我が国の位置と領土をめぐる問題の扱いが載っているページ数	7	9	9	8	8	6	10	4	15	
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしている。 ・各章の終結部に「ウェビング」「ステップチャート」などの思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしている。 ・「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。	・冒頭の「歴史にアプローチ」で、本編各章の学習で「見方・考え方」を働かせながら学習を深めていけるように配慮している。 ・各章の導入の場面では、生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版などの資料をわかりやすく提示し、円滑に授業に入っていくことができるように工夫している。 ・資料の読み解きのために「THINK！」などのコーナーや、1時間の学習をまとめる「確認」「表現」のコーナーを設け、生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮している。	・「タイムトラベル」,「世界とのつながりを考えよう イラスト編」では、大きなイラストを示し、重要な場面を探し出す課題を設定するなどして、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動に使えるようにしている。 ・単元を貫く「章の問い」,「節の問い」や章末の「学習を振り返ろう」等、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。	・各パート冒頭の学習課題や、最後の「ステップアップ」だけでなく、パート内の随所に豊富で多様な種類の発問を設け、主体的・対話的で深い学びができるようにしている。	・複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」を設けている。 ・話し合いなどの対話的な活動を行う箇所「学び合い」のマークを付している。	・「調べ学習のページ」を設定し、生徒の探究を促している。 ・「時代の特徴を考えるページ」において、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題を設定することで、時代比較、人物比較、意見交換会などを通じて、学んだことを自分で構造化できるようにしている。	・「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、学びのテーマ、学びの方法や手段、まとめ方などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促している。	・生徒の関心を引き出す図版や記述等の教材を用いて、生徒自ら感じる主体的な学びにつなげている。 ・章や部のまとめでは、将軍、大小の商人、百姓、アイヌなど様々な人びとへのインタビュー記事をつくる表現活動を設定するなどの活動を通して「主体的・対話的で深い学び」を図っている。	・「グループで歴史を調べよう」のページで、身近なものや興味のあるものの歴史をグループで調べる方法について紹介している。 ・小テーマ毎に最初に「課題」を設定するとともに、最後に「考えよう」の項目を設定している。 ・各章の最後には、表をまとめて作業及び自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる課題が設定されている。
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり	なし
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり
	防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし
	脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

都立武蔵高等学校附属中学校 社会(歴史的分野) 採択資料

	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育麟社	229 学び舎	236 令書	
内容	発行者の番号略称									
	地域の学習資源や大学、国際機関等、社会の学習資源を活用している箇所数	52	25	31	40	58	50	42	7	
	世界の歴史と関わらせて我が国の歴史を取り上げている箇所数	317	268	255	319	283	347	252	114	
	調べ学習の仕方を紹介しているページ数	10	22	6	15	13	13	18	9	
	取り上げられている歴史上の人物の数	487	552	512	636	485	782	676	1061	
	取り上げられている主な文化遺産の数	135	140	131	121	134	100	127	54	
	世界の歴史について取り上げている箇所数	59	57	59	70	55	56	57	69	
	身近な地域の歴史(東京に関する歴史的事象)を取り上げている箇所数	98	74	71	76	74	96	73	59	
構成上の工夫	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料数	3	3	1	2	2	7	4	10	
	我が国の位置と領土をめぐる問題の扱いが載っているページ数	7	9	9	8	8	6	10	15	
参考	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしている。 ・各章の終結部に「ウェビング」「ステップチャート」などの思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしている。 ・「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。	・冒頭の「歴史にアプローチ」で、本編各章の学習で「見方・考え方」を働かせながら学習を深めていけるように配慮している。 ・各章の導入の場面では、生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版などの資料をわかりやすく提示し、円滑に授業に入っていくことができるように工夫している。 ・資料の読み解きのために「THINK!」などのコーナーや、1時間の学習をまとめる「確認」「表現」のコーナーを設け、生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮している。	・「タイムトラベル」、「世界とのつながりを考えよう イラスト編」では、大きなイラストを示し、重要な場面を探し出す課題を設定するなどして、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動に使えるようにしている。 ・単元を貫く「章の問い」、「節の問い」や章末の「学習を振り返ろう」等、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。	・各パート冒頭の学習課題や、最後の「ステップアップ」だけでなく、パート内の随所に豊富で多様な種類の発問を設け、主体的・対話的で深い学びができるようにしている。	・複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」を設けている。 ・話し合いなどの対話的な活動を行う箇所「学び合い」のマークを付している。	・「調べ学習のページ」を設定し、生徒の探究を促している。 ・「時代の特徴を考えるページ」において、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題を設定することで、時代比較、人物比較、意見交換会などを通じて、学んだことを自分で構造化できるようにしている。	・「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、学びのテーマ、学びの方法や手段、まとめ方などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促している。	・生徒の関心を引き出す図版や記述等の教材を用いて、生徒自ら感じる主体的な学びにつなげている。 ・章や部のまとめでは、將軍、大小の商人、百姓、アイヌなど様々な人びとへのインタビュー記事をつくる表現活動を設定するなどの活動を通して「主体的・対話的で深い学び」を図っている。	・「グループで歴史を調べよう」のページで、身近なものや興味のあるものの歴史をグループで調べる方法について紹介している。 ・小テーマ毎に最初に「課題」を設定するとともに、最後に「考えよう」の項目を設定している。 ・各章の最後には、表をまとめる作業及び自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる課題が設定されている。
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり	なし
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり
	防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし
	脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

都立富士高等学校附属中学校 社会(歴史的分野) 採択資料

	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育麟社	229 学び舎	236 令書	
内容	発行者の番号略称									
	地域の学習資源や大学、国際機関等、社会の学習資源を活用している箇所数	52	25	31	40	58	50	42	7	
	世界の歴史と関わらせて我が国の歴史を取り上げている箇所数	317	268	255	319	283	347	252	114	
	調べ学習の仕方を紹介しているページ数	10	22	6	15	13	13	18	9	
	取り上げられている歴史上の人物の数	487	552	512	636	485	782	676	1061	
	取り上げられている主な文化遺産の数	135	140	131	121	134	100	127	54	
	世界の歴史について取り上げている箇所数	59	57	59	70	55	56	57	69	
	身近な地域の歴史(東京に関する歴史的事象)を取り上げている箇所数	98	74	71	76	74	96	73	59	
構成上の工夫	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料数	3	3	1	2	2	7	4	10	
	我が国の位置と領土をめぐる問題の扱いが載っているページ数	7	9	9	8	8	6	10	15	
参考	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしている。 各章の終結部に「ウェビング」「ステップチャート」などの思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしている。 「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭の「歴史にアプローチ」で、本編各章の学習で「見方・考え方」を働かせながら学習を深めていけるように配慮している。 各章の導入の場面では、生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版などの資料をわかりやすく提示し、円滑に授業に入っていくことができるように工夫している。 資料の読み解きのために「THINK!」などのコーナーや、1時間の学習をまとめる「確認」「表現」のコーナーを設け、生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「タイムトラベル」,「世界とのつながりを考えよう イラスト編」では、大きなイラストを示し、重要な場面を探し出す課題を設定するなどして、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動に使えるようにしている。 単元を貫く「章の問い」,「節の問い」や章末の「学習を振り返ろう」等、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各パート冒頭の学習課題や、最後の「ステップアップ」だけでなく、パート内の随所に豊富で多様な種類の発問を設け、主体的・対話的で深い学びができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」を設けている。 話し合いなどの対話的な活動を行う箇所「学び合い」のマークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「調べ学習のページ」を設定し、生徒の探究を促している。 「時代の特徴を考えるページ」において、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題を設定することで、時代比較、人物比較、意見交換会などを通じて、学んだことを自分で構造化できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、学びのテーマ、学びの方法や手段、まとめ方などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の関心を引き出す図版や記述等の教材を用いて、生徒自ら感じる主体的な学びにつなげている。 章や部のまとめでは、将軍、大小の商人、百姓、アイヌなど様々な人びとへのインタビュー記事をつくる表現活動を設定するなどの活動を通して「主体的・対話的で深い学び」を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「グループで歴史を調べよう」のページで、身近なものや興味のあるものの歴史をグループで調べる方法について紹介している。 小テーマ毎に最初に「課題」を設定するとともに、最後に「考えよう」の項目を設定している。 各章の最後には、表をまとめる作業及び自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる課題が設定されている。
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり	なし
北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	
防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし	
脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	あり	
オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	

	発行者の番号 略 称	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育麟社	229 学び舎	236 令書
内 容	我が国の伝統と文化を扱っている箇所数	427	446	423	421	587	349	462	350	145
	世界の歴史と関わらせて我が国の歴史を取り上げている箇所数	317	268	255	319	283	347	252	246	114
	調べ学習の仕方を紹介しているページ数	10	22	6	15	13	13	18	7	9
	取り上げられている歴史上の人物の数	487	552	512	636	485	782	676	465	1061
	取り上げられている主な文化遺産の数	135	140	131	121	134	100	127	92	54
	世界の歴史について取り上げている箇所数	59	57	59	70	55	56	57	59	69
	身近な地域の歴史(東京に関する歴史的事象)を取り上げている箇所数	98	74	71	76	74	96	73	97	59
	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料数	3	3	1	2	2	7	4	1	10
我が国の位置と領土をめぐる問題の扱いが載っているページ数	7	9	9	8	8	6	10	4	15	
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしている。 各章の終結部に「ウェビング」「ステップチャート」などの思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしている。 「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭の「歴史にアプローチ」で、本編各章の学習で「見方・考え方」を働かせながら学習を深めていけるように配慮している。 各章の導入の場面では、生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版などの資料をわかりやすく提示し、円滑に授業に入っていくことができるように工夫している。 資料の読み解きのために「THINK!」などのコーナーや、1時間の学習をまとめる「確認」「表現」のコーナーを設け、生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「タイムトラベル」,「世界とのつながりを考えよう イラスト編」では、大きなイラストを示し、重要な場面を探し出す課題を設定するなどして、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動に使えるようにしている。 単元を貫く「章の問い」,「節の問い」や章末の「学習を振り返ろう」等、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各パート冒頭の学習課題や、最後の「ステップアップ」だけでなく、パート内の随所に豊富で多様な種類の発問を設け、主体的・対話的で深い学びができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」を設けている。 話し合いなどの対話的な活動を行う箇所「学び合い」のマークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「調べ学習のページ」を設定し、生徒の探究を促している。 「時代の特徴を考えるページ」において、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題を設定することで、時代比較、人物比較、意見交換会などを通じて、学んだことを自分で構造化できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、学びのテーマ、学びの方法や手段、まとめ方などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の関心を引き出す図版や記述等の教材を用いて、生徒自ら感じる主体的な学びにつなげている。 章や部のまとめでは、将軍、大小の商人、百姓、アイヌなど様々な人びとへのインタビュー記事をつくる表現活動を設定するなどの活動を通して「主体的・対話的で深い学び」を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「グループで歴史を調べよう」のページで、身近なものや興味のあるものの歴史をグループで調べる方法について紹介している。 小テーマ毎に最初に「課題」を設定するとともに、最後に「考えよう」の項目を設定している。 各章の最後には、表をまとめる作業及び自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる課題が設定されている。
参 考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり	なし
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり
	防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし
	脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

都立南多摩中等教育学校 社会(歴史的分野) 採択資料

	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育麟社	229 学び舎	236 令書	
内容	我が国の伝統と文化を扱っている箇所数	427	446	423	421	587	349	462	350	145
	地域の学習資源や大学、国際機関等、社会の学習資源を活用している箇所数	52	25	31	40	58	50	42	22	7
	調べ学習の仕方を紹介しているページ数	10	22	6	15	13	13	18	7	9
	取り上げられている歴史上の人物の数	487	552	512	636	485	782	676	465	1061
	取り上げられている主な文化遺産の数	135	140	131	121	134	100	127	92	54
	世界の歴史について取り上げている箇所数	59	57	59	70	55	56	57	59	69
	身近な地域の歴史(東京に関する歴史的事象)を取り上げている箇所数	98	74	71	76	74	96	73	97	59
	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料数	3	3	1	2	2	7	4	1	10
我が国の位置と領土をめぐる問題の扱いが載っているページ数	7	9	9	8	8	6	10	4	15	
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしている。 ・各章の終結部に「ウェビング」「ステップチャート」などの思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしている。 ・「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。	・冒頭の「歴史にアプローチ」で、本編各章の学習で「見方・考え方」を働かせながら学習を深めていけるように配慮している。 ・各章の導入の場面では、生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版などの資料をわかりやすく提示し、円滑に授業に入っていくことができるように工夫している。 ・資料の読み解きのために「THINK！」などのコーナーや、1時間の学習をまとめる「確認」「表現」のコーナーを設け、生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮している。	・「タイムトラベル」、「世界とのつながり」を考えよう イラスト編」では、大きなイラストを示し、重要な場面を探し出す課題を設定するなどして、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動に使えるようにしている。 ・単元を貫く「章の問い」、「節の問い」や章末の「学習を振り返ろう」等、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。	・各パート冒頭の学習課題や、最後の「ステップアップ」だけでなく、パート内の随所に豊富で多様な種類の発問を設け、主体的・対話的で深い学びができるようにしている。	・複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」を設けている。 ・話し合いなどの対話的な活動を行う箇所「学び合い」のマークを付している。	・「調べ学習のページ」を設定し、生徒の探究を促している。 ・「時代の特徴を考えるページ」において、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題を設定することで、時代比較、人物比較、意見交換会などを通じて、学んだことを自分で構造化できるようにしている。	・「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、学びのテーマ、学びの方法や手段、まとめ方などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促している。	・生徒の関心を引き出す図版や記述等の教材を用いて、生徒自ら感じる主体的な学びにつなげている。 ・章や部のまとめでは、将軍、大小の商人、百姓、アイヌなど様々な人びとへのインタビュー記事をつくる表現活動を設定するなどの活動を通して「主体的・対話的で深い学び」を図っている。	・「グループで歴史を調べよう」のページで、身近なものや興味のあるものの歴史をグループで調べる方法について紹介している。 ・小テーマ毎に最初に「課題」を設定するとともに、最後に「考えよう」の項目を設定している。 ・各章の最後には、表をまとめて作業及び自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる課題が設定されている。
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり	なし
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり
	防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし
	脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

都立三鷹中等教育学校 社会(歴史的分野) 採択資料

	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	225 自由社	227 育麟社	229 学び舎	236 令書	
内容	我が国の伝統と文化を扱っている箇所数	427	446	423	421	587	349	462	350	145
	地域の学習資源や大学、国際機関等、社会の学習資源を活用している箇所数	52	25	31	40	58	50	42	22	7
	調べ学習の仕方を紹介しているページ数	10	22	6	15	13	13	18	7	9
	取り上げられている歴史上の人物の数	487	552	512	636	485	782	676	465	1061
	取り上げられている主な文化遺産の数	135	140	131	121	134	100	127	92	54
	世界の歴史について取り上げている箇所数	59	57	59	70	55	56	57	59	69
	身近な地域の歴史(東京に関する歴史的事象)を取り上げている箇所数	98	74	71	76	74	96	73	97	59
	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料数	3	3	1	2	2	7	4	1	10
我が国の位置と領土をめぐる問題の扱いが載っているページ数	7	9	9	8	8	6	10	4	15	
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしている。 各章の終結部に「ウェビング」「ステップチャート」などの思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしている。 「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭の「歴史にアプローチ」で、本編各章の学習で「見方・考え方」を働かせながら学習を深めていけるように配慮している。 各章の導入の場面では、生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版などの資料をわかりやすく提示し、円滑に授業に入っていくことができるように工夫している。 資料の読み解きのために「THINK!」などのコーナーや、1時間の学習をまとめる「確認」「表現」のコーナーを設け、生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「タイムトラベル」、「世界とのつながり」を考えよう イラスト編」では、大きなイラストを示し、重要な場面を探し出す課題を設定するなどして、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習活動に使えるようにしている。 単元を貫く「章の問い」、「節の問い」や章末の「学習を振り返ろう」等、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各パート冒頭の学習課題や、最後の「ステップアップ」だけでなく、パート内の随所に豊富で多様な種類の発問を設け、主体的・対話的で深い学びができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」を設けている。 話し合いなどの対話的な活動を行う箇所「学び合い」のマークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「調べ学習のページ」を設定し、生徒の探究を促している。 「時代の特徴を考えるページ」において、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題を設定することで、時代比較、人物比較、意見交換会などを通じて、学んだことを自分で構造化できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、学びのテーマ、学びの方法や手段、まとめ方などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の関心を引き出す図版や記述等の教材を用いて、生徒自ら感じる主体的な学びにつなげている。 章や部のまとめでは、将軍、大小の商人、百姓、アイヌなど様々な人びとへのインタビュー記事をつくる表現活動を設定するなどの活動を通して「主体的・対話的で深い学び」を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「グループで歴史を調べよう」のページで、身近なものや興味のあるものの歴史をグループで調べる方法について紹介している。 小テーマ毎に最初に「課題」を設定するとともに、最後に「考えよう」の項目を設定している。 各章の最後には、表をまとめる作業及び自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる課題が設定されている。
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり	なし
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり
	防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし
	脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり